

119 番映像通報システム

中濃消防組合では令和6年4月1日から119番映像通報システムの運用を開始しました。

119 番映像通報システムについて

119番映像通報システムとは119番通報の際に通報者のスマートフォンを使って、災害現場の状況を映像で伝えていただくシステムです。

119番通報のみでは伝えることが難しい状況でも、映像により火災や交通事故などの災害現場の状況を把握することができます。

また、地理不案内者からの通報時には災害発生場所の特定が可能となります。

ご協力のお願い

119番映像通報システムは、消防指令センターの消防指令員が必要性を判断し、通報者の安全な環境が確認できれば、依頼をすることがありますので、ご協力をお願いします。

なお、映像送信にかかる通信料は通報者負担となりますのでご了承ください。

※ 119番の音声のみの通報は無料です。

119 番映像通報システムの操作手順

1. 消防指令センターの消防指令員が通報者に119番映像通報システムによる映像送信のご協力をお願いします。(通信料は通報者負担となります。)

2. 了承していただくと、通報者のスマートフォンにショートメッセージで、映像送信用URLを送信します。

※ ショートメッセージを開く前に、スマートフォンの音声をスピーカーフォンに切り替えます。スピーカーフォンに切り替えることで、撮影中にスマートフォンから耳を離しても音声が聞こえるようになります。

3. ショートメッセージを受け取ったら、表示されたURLをタップします。

スマートフォンのブラウザから119番映像通報システムが起動します。

※ ブラウザがiPhoneの場合は「Safari」Androidの場合は「Google Chrome」をご利用頂く必要があります。

4. 撮影前の注意事項を確認します。問題なければ「承諾」をいただき次に進みます。
5. 119番映像通報システムではマイクやカメラ、位置情報を使用します。使用の許可をしてから次へ進みます。
6. 映像の送信を開始します。撮影している映像は消防指令センターへ伝送されます。消防指令員が現場の状況を映像で確認し、必要な情報を取得した後は、119番映像通報システムを終了することを伝え切断します。

119番映像通報システムの手順イラスト

